

デジタルアクセシビリティアドバイザー
認定試験公式テキスト
<https://daa.ne.jp/>

第一章 障害を理解する

- 1 障害観の変化
- 2 社会の変化
- 3 障害の種類
- 4 関係する法令

第二章 テクノロジーを理解する

- 1 テクノロジーと人間
- 2 障害とテクノロジーの関係
- 3 アクセシビリティ

第三章 OS標準のアクセシビリティを理解する

- 1 Windowsのアクセシビリティ
- 2 iOS/iPadOSのアクセシビリティ
- 3 AndroidOSのアクセシビリティ
- 4 macOSのアクセシビリティ
- 5 OS標準のアクセシビリティ機能利用に役立つ周辺機器

第四章 困難別の支援技術

- 1 見ることに困難がある
- 2 読み書きに困難がある
- 3 聞くことに困難がある
- 4 動くことに困難がある
- 5 コミュニケーションに困難がある
- 6 重複障害の困難

第五章 安心・安全で快適な環境を作るために

- 1 作業環境の整備
- 2 作業管理
- 3 身体的特性を考慮した環境の構築
- 4 衛生的環境への配慮
- 5 情報アクセシビリティ

第六章 作業療法士による支援技術の実践例

- 1 ICTを活用した実践例
- 2 幼児期・学齢期の支援の実践例
- 3 遠隔テレビ会議システムを使用した支援の実例
- 4 eスポーツでの支援の実例

あらやようすけ ◆北海道教育大学函館校教育学部総合科学課程情報科学コース卒業。北海道教育大学札幌校大学院教育学研究科（修士課程）学校教育専攻修士。北海道八雲養護学校教諭、国立特別支援教育総合研究所主任研究員などを経て、現在は金沢星稜大学人間科学部スポーツ学科（教職課程特別支援教育・パラスポーツ担当）教授・学生支援センター長。

「知的障害特別支援学校のICTを活用した授業づくり」ジァース教育新社

インターネットし、その活用をサポートできる知識と技術を認定された人材であり、デジタルアクセシビリティのマイナンドを持つ支援者とも言えます。

デジタルアクセシビリティアドバイザーになるための、Basicレベル編、Standardレベル編の二種類の学習教材や、動画コンテンツにより、次のような内容を幅広く学習することができます。また、デジタルアクセシビリティアドバ

イザーのコミュニティに参加することにより、最新情報を得る機会にもつながります。

デジタルアクセシビリティアドバイザーは認定資格の一つではありますが、本教材を使用することで、サポート時に必要な知識が深まり、資格取得だけでなく現場での提案や対策に役立てることができると考えます。

参考・引用文献
文部科学省（二〇二〇）「教育の情報化に関する手引」追補版（令和二年六月）
日本支援技術協会 デジタルアクセシビリティアドバイザー
<https://daa.ne.jp/>
新谷洋介他二名（二〇二四）「実践事例創出型による情報モラル教育に関する教材の在り方」2023年度北海道大学情報基盤センター萌芽型共同研究成果報告書
新谷洋介他二名（二〇二三）「実践事例創出型による情報モラル教育に関する指導プログラムの検討」2022年度北海道大学情報基盤センター萌芽型共同研究成果報告書
金森克浩監修・新谷洋介他二名著（二〇二二）「Q&Aでわかる発達障害・知的障害のある子どものSNS利用ガイド」ジァース教育新社
金森克浩監修（二〇一六）「知的障害特別支援学校のICTを活用した授業づくり」ジァース教育新社